

1. 回収率

保 護 者		教 員	
60 / 83	72%	78 / 84	93%

- ・昨年度と比較し保護者、教員とも回収率は高くなった。特に教員は職員会議の際にアンケート回答の時間をとったこともあり、飛躍的に伸びた（昨年度は43%）。保護者についても、緊急メールで提出期限当日の回収率の速報値を流し協力を仰いだ（昨年度は70%）。

2. 考察

【保護者】

- ・30項目の設問中、肯定的評価が90%を上回ったものが19項目、80%を上回ったものを加えると28項目となり、本校の学校運営について、概ねご理解をいただいていることが伺えた。
- ・しかしながら、ホームページをご覧いただいている保護者は9%と極端に少なく、昨年度の18%をも下回っている。府立への移管やシステムの変更等で新しいホームページの立ち上げが遅れたことの影響がでているものと考えられる。ただ、学校協議会からも厳しいご意見をいただいております、本校への入学を考えておられる保護者は必ず見ていただいているということを念頭に、学部ごとの活動風景やブログの更新を随時行い閲覧率の向上につなげていきたい。

【教員】

- ・「授業力や専門性の向上」に関して、校内研修の体制や内容について肯定的な評価は90%を超え昨年度(60%)を大きく上回った。授業研究に関しても81%とこちらも昨年度(49%)を大きく上回っている。外部講師を招いた授業研究等、様々な取り組みが授業の改善と充実、専門性の向上について大きな成果となって教員一人ひとりの実感に直結してきていることが伺える。
- ・今年度より取り入れたアセスメントチェックリストについても、72%の教員が効果を上げていると回答しており、今後の活用について更なる拡大が期待される。
- ・学校協議会からも指摘があったが、設問4の「教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。」について、肯定的意見が48%と低い数値になっている。保護者の立場から見ると非常に心配な数値であり、「働く意欲をもてる職場」作りを進めていかなければならない。